

2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

2022.8.12

(証券コード : 4926)

株式会社シーボン



連結決算のポイント

2023年3月期 第1四半期連結PL

【前期との差異】

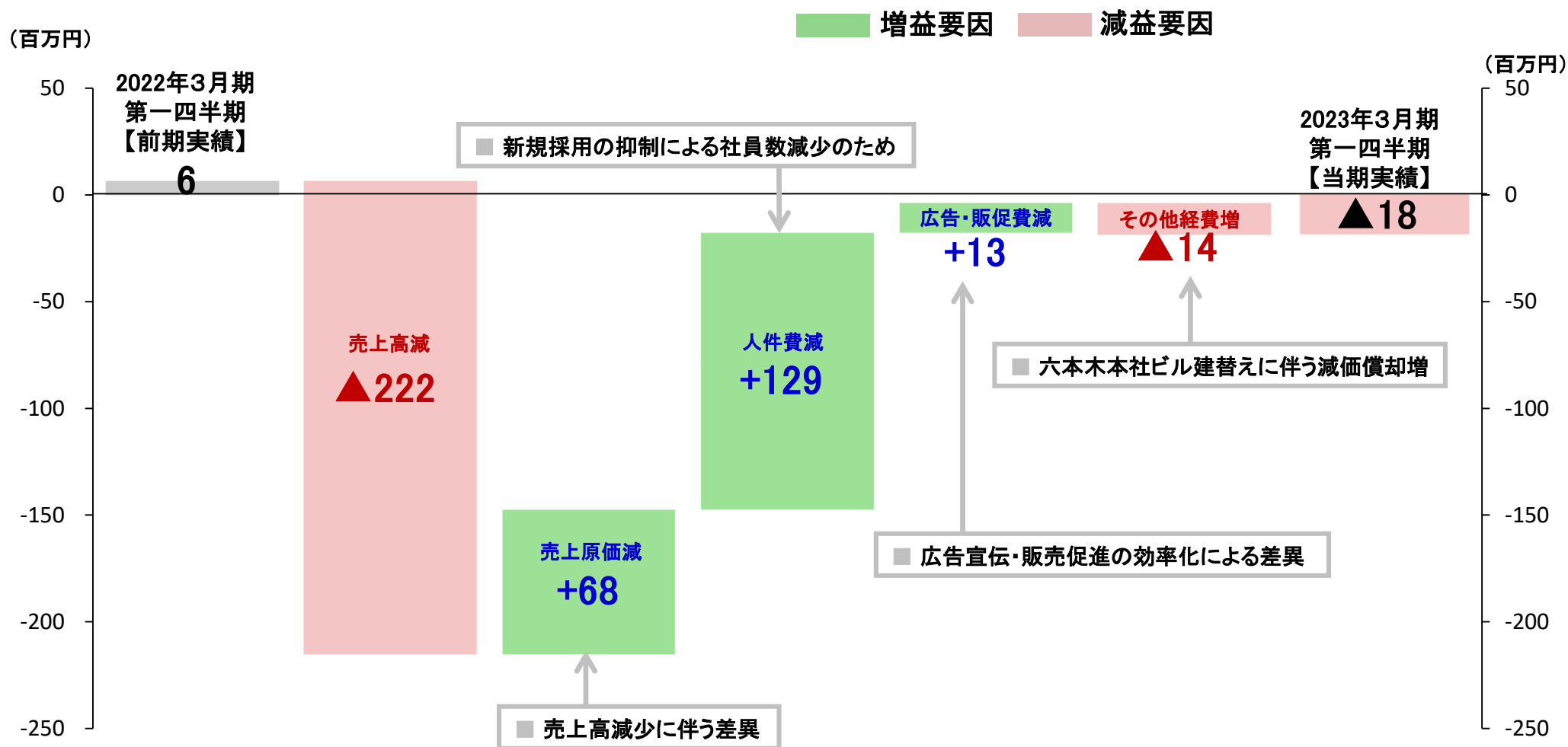
1 連結売上高：既存顧客の継続数が減少したため売上高減少

2 経常利益：前年同期は営業外収益に雇用調整助成金を計上のため

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期
(百万円)		
1 連結売上高	2,347	2,125
売上原価	542	474
売上総利益	1,805	1,651
販管費	1,799	1,670
営業利益	6	▲18
営業外収益	44	8
営業外費用	2	1
2 経常利益	48	▲11
特別利益	0	0
特別損失	2	0
税金等調整前当期 純利益又は純損失	46	▲12
法人税等合計	16	15
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失	29	▲27

営業利益差異分析(前期比)

経費効率化も売上高の減少により営業損失18百万円



貸借対照表

1 総資産 2022年3月：95億6,300万円 ⇒ 6月：93億6,400万円

2 自己資本比率2022年3月：64.8% ⇒ 6月：65.3%

(百万円)

単位: 百万円	2022年3月期 (2022年03月31日)		2023年3月期第1四半期 (2022年06月30日)		増減額	前期末比
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	4,852	50.7%	4,744	50.7%	▲107	97.8%
固定資産	4,711	49.2%	4,620	49.3%	▲90	98.1%
1 資産合計	9,563	100.0%	9,364	100.0%	▲198	97.9%
流動負債	2,843	29.7%	2,763	29.5%	▲79	97.2%
固定負債	519	5.4%	478	5.1%	▲41	92.0%
負債合計	3,362	35.2%	3,242	34.6%	▲120	96.4%
2 自己資本	6,195	64.8%	6,117	65.3%	▲77	98.7%
新株予約権	4	0.0%	4	0.0%	±0	100.0%
純資産合計	6,200	64.8%	6,122	65.4%	▲77	98.7%
負債純資産合計	9,563	100.0%	9,364	100.0%	▲198	97.9%

販売チャネル別 売上高

直営店舗	新規顧客数増加も、継続数が減少し売上高減少。
通信販売	通販での新規顧客の増加施策を進める。
国内代理店	代理店数を増加、化粧品の販路開拓を進める。
海外代理店	中国での拡販に向け、計画策定を進める。
その他（子会社）	地方自治体の特産品原料のOEMを受託・生産。

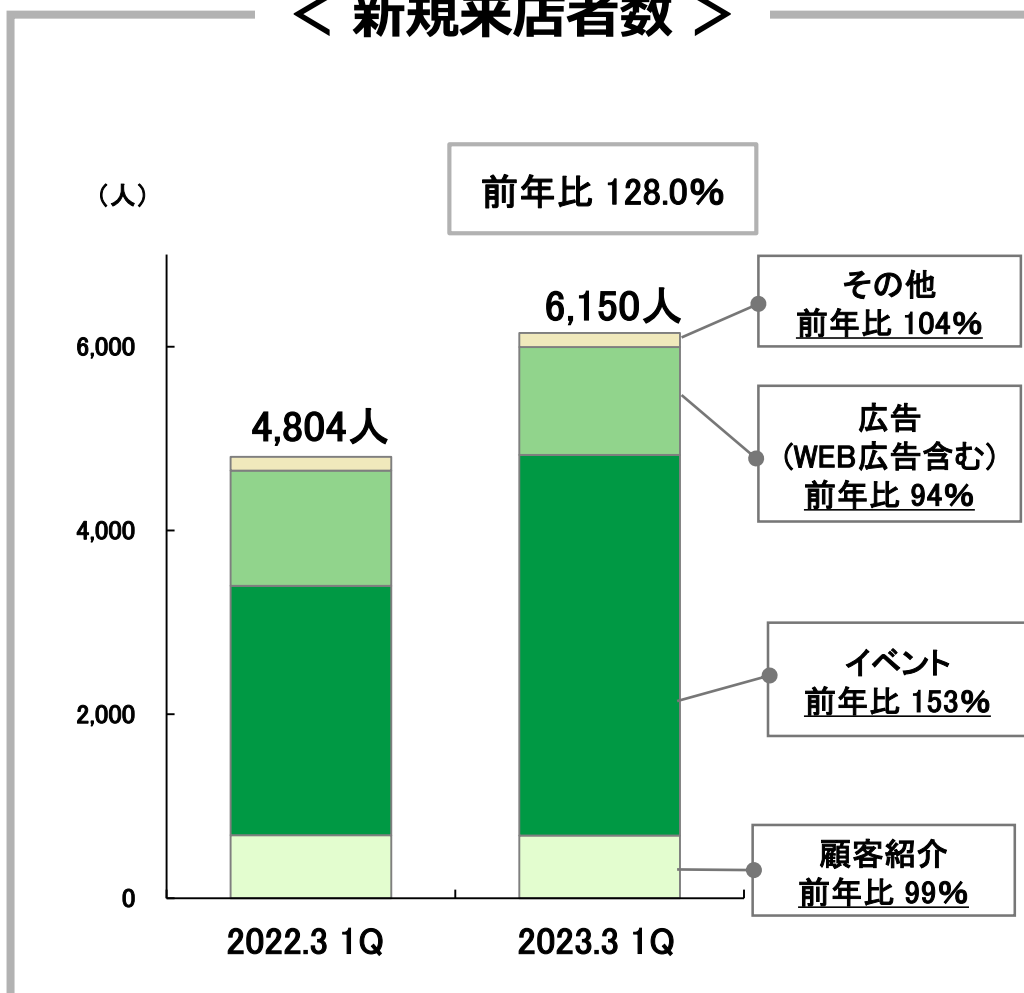
単位:百万円	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 第1四半期実績	
	金額	金額	金額	金額	構成比
直営店舗	10,547	8,384	8,413	1,972	92.8%
通信販売	216	379	391	75	3.6%
国内代理店	121	119	130	29	1.4%
海外代理店	17	19	49	2	0.1%
その他	197	198	168	45	2.1%
合計	11,101	9,101	9,153	2,125	100.0%

新規来店数・既存顧客継続数の状況 - 直営店舗 -

【新規来店数】 行動制限の解除によりイベントでの集客数が大幅増加

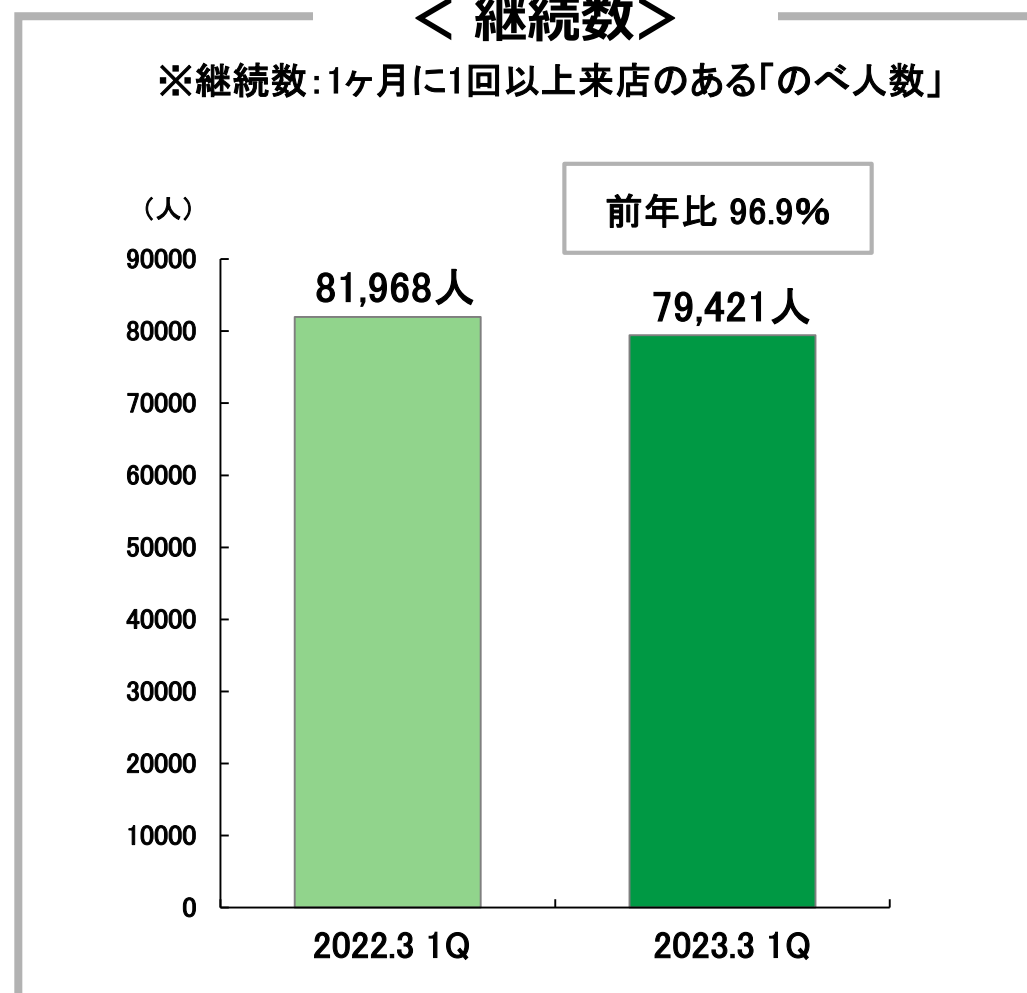
【継続数】 2022年3月期の長期的な行動制限が尾を引き、既存顧客の来店数減

< 新規来店者数 >



< 継続数 >

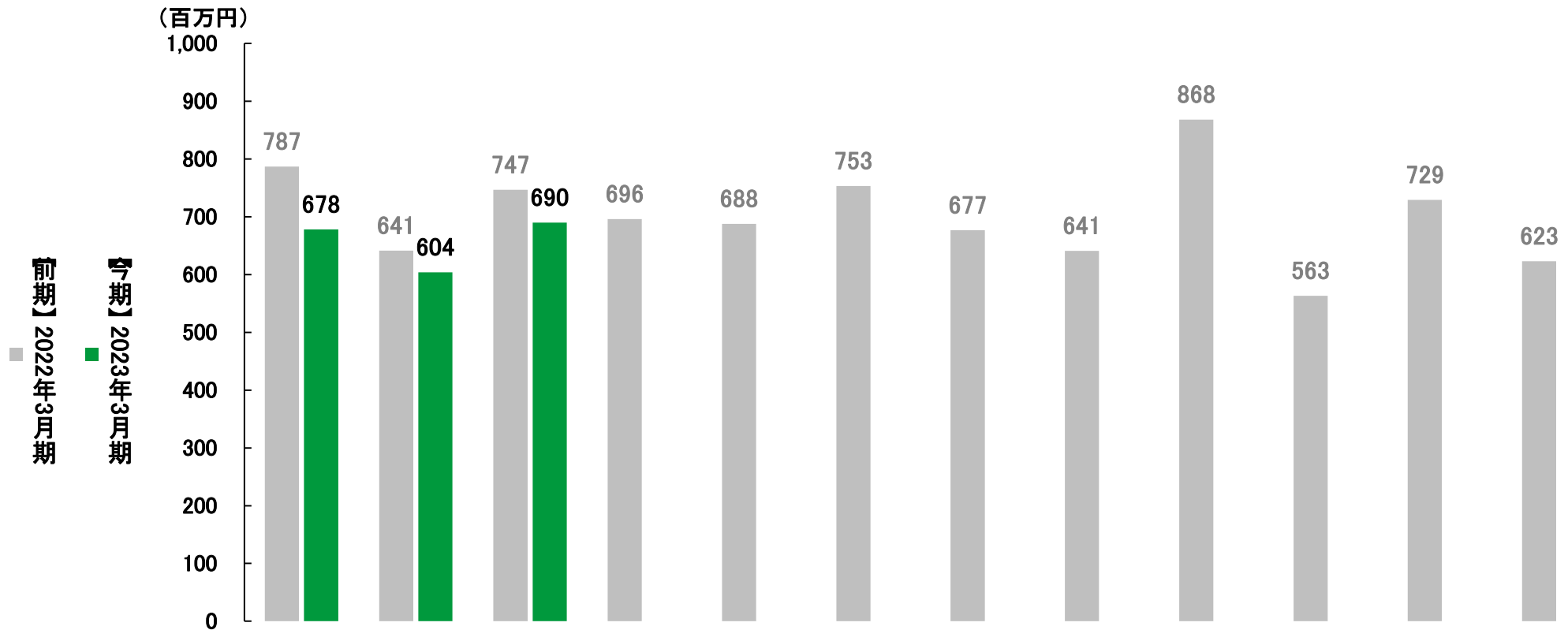
※継続数: 1ヶ月に1回以上来店のある「のべ人数」



月次売上高の推移 - 直営店舗 -

<2023年3月期 第1四半期>

- ・ 2022年3月期の長期的な行動制限が尾を引き、既存顧客の来店数減
- ・ 2021年3月期から実施していた直営店舗の統廃合・縮小移転による売上高減少への影響はあり

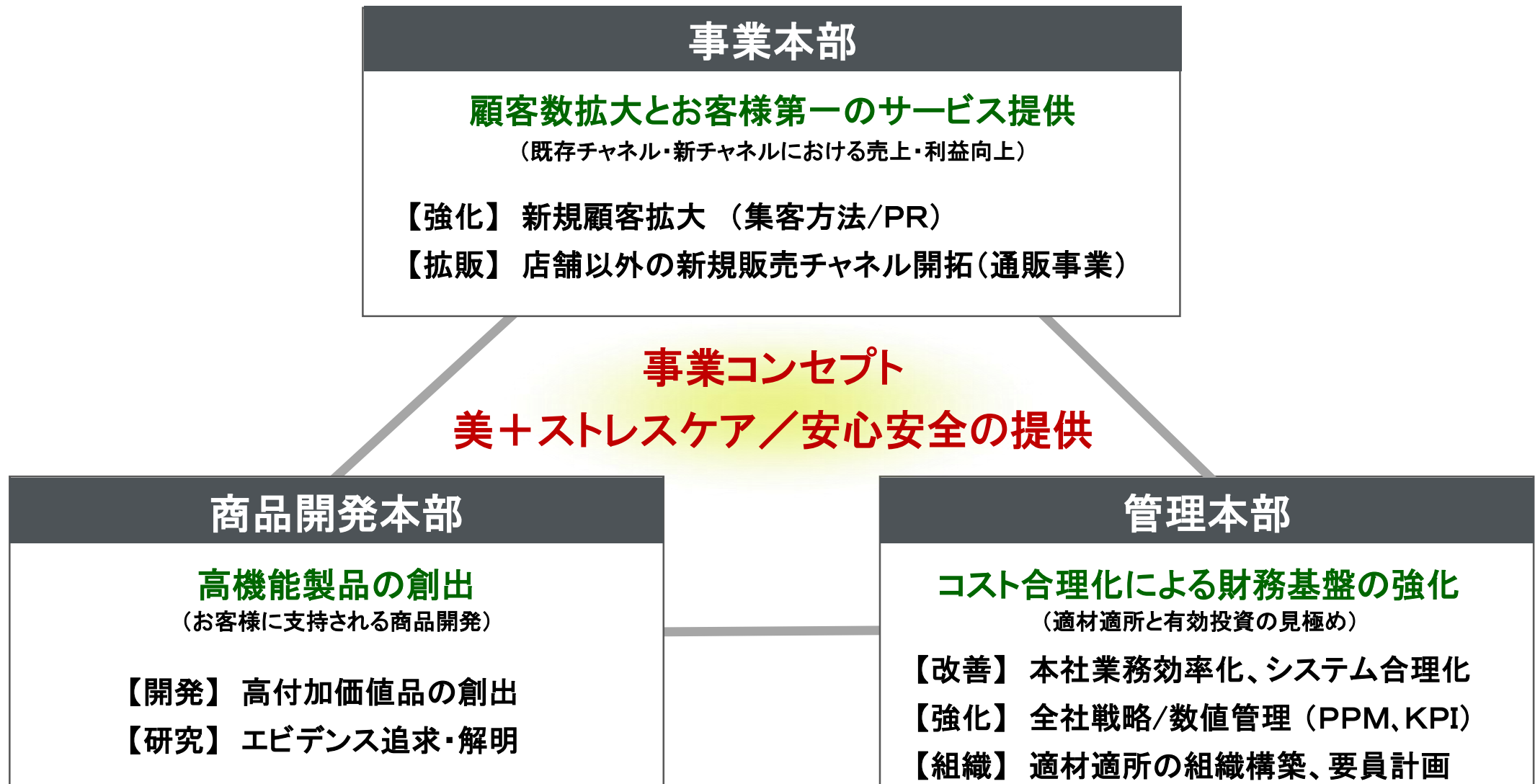


単位:百万円	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
【前期】2022年3月期	787	641	747	696	688	753	677	641	868	563	729	623
【今期】2023年3月期	678	604	690									
前期同月比	86.1%	94.2%	94.2%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%	-%

2023年3月期 第1四半期 トピックス

中期経営計画 重点実行項目 (2021年3月期～2023年3月期)

中期経営計画の最終年度として重点実行項目を実行
⇒組織基盤を強化し、スピード感と実行力ある事業を推進



計画達成に向けた主な取り組み

オンライン・オフラインを駆使した新たな顧客との接点拡大

オフライン

サロンにおける「コト」の価値訴求

お客様がサロン来店時に感じる付加価値の訴求

- ・感動接客によるお客様との信頼関係構築
- ・客観的データによる効果の実感を提供
- ・サロンにおける空間演出、五感への訴求

イベントプロモーション

- ・タブレット導入によるお客様との繋がりを強化
- ・物販をはじめとしたイベント内容の変化

他企業とのアライアンス強化

相互送客による顧客数拡大

既存のお客様

顧客紹介

既存サロンの仕組み

新たなお客様

SNS情報発信

オンラインカウンセリングの導入

- ・ECおよび未来店のお客様との繋がり強化

専用アプリ導入

- ・来店予約の利便性向上
- ・チャット機能を利用した、お客様との繋がり強化

EC強化

- ・美容検索、予約サイトの活用
- ・インフルエンサーマーケティング

Webによる情報発信

- ・EC専用ブランドの立ち上げ
- ・SNSを活用した情報動画の配信

オンライン

2023年3月期 第1四半期 トピックス

新規集客広告のメインビジュアル・コピーを刷新

▶年代別での肌悩みへの訴求を行うことで、集客効率の向上を図る。

20代 毛穴訴求

この広告は、20代の女性に向けた毛穴ケアをテーマにしたものです。メインビジュアルには、顔のクローズアップがあり、鼻の毛穴に焦点が当てられています。テキストには「ツルツル毛穴スベキリ!」とあり、毛穴ケアの重要性を強調しています。また、「トライアルプラン 初回1,500円」というオファーが提示されています。広告の下部には、店舗の紹介やお問い合わせの情報が記載されています。

30代・40代 美白訴求

この広告は、30代・40代の女性に向けた美白ケアをテーマにしたものです。メインビジュアルには、笑顔の女性の顔が映っており、肌の明るさを表現しています。テキストには「美白体験でクリアな肌へ」とあり、美白ケアの効果を訴求しています。また、「トライアルプラン 初回1,500円」というオファーが提示されています。広告の下部には、店舗の紹介やお問い合わせの情報が記載されています。

2023年3月期 第1四半期 トピックス

行動制限の緩和によりイベントでの集客増加

▶ 行動制限の緩和により、大型・小型イベントともに開催数が増加。



4/29～30
ニコニコ超会議



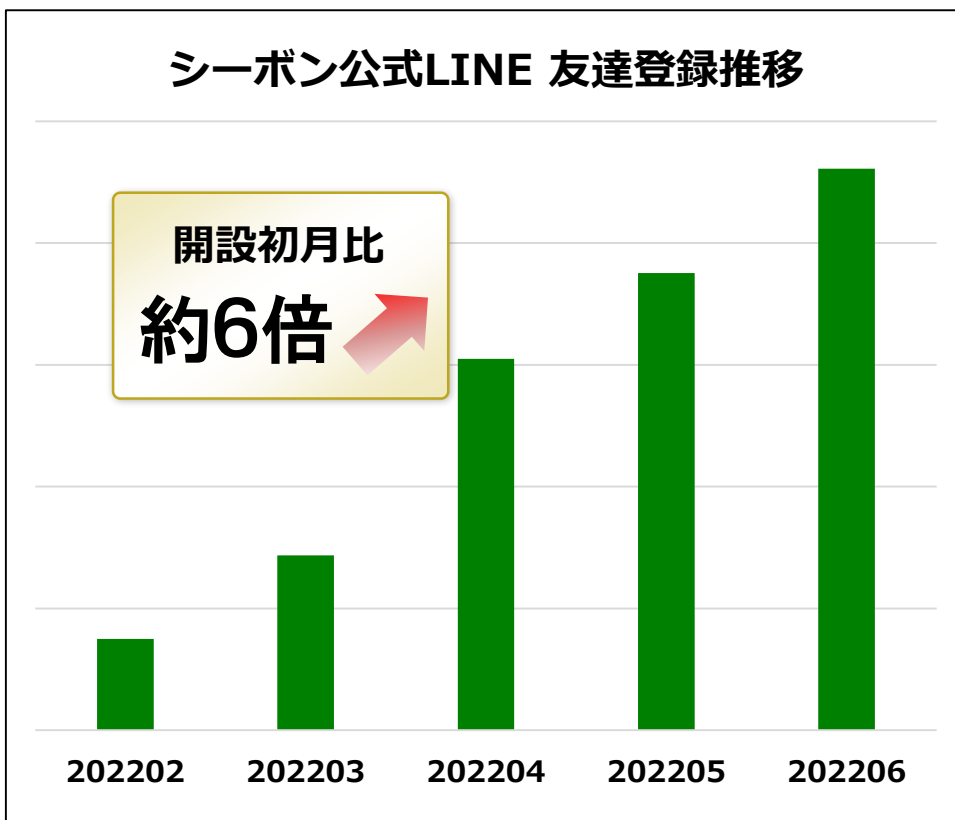
5/18
マルイ有楽町

2023年3月期 第1四半期 トピックス

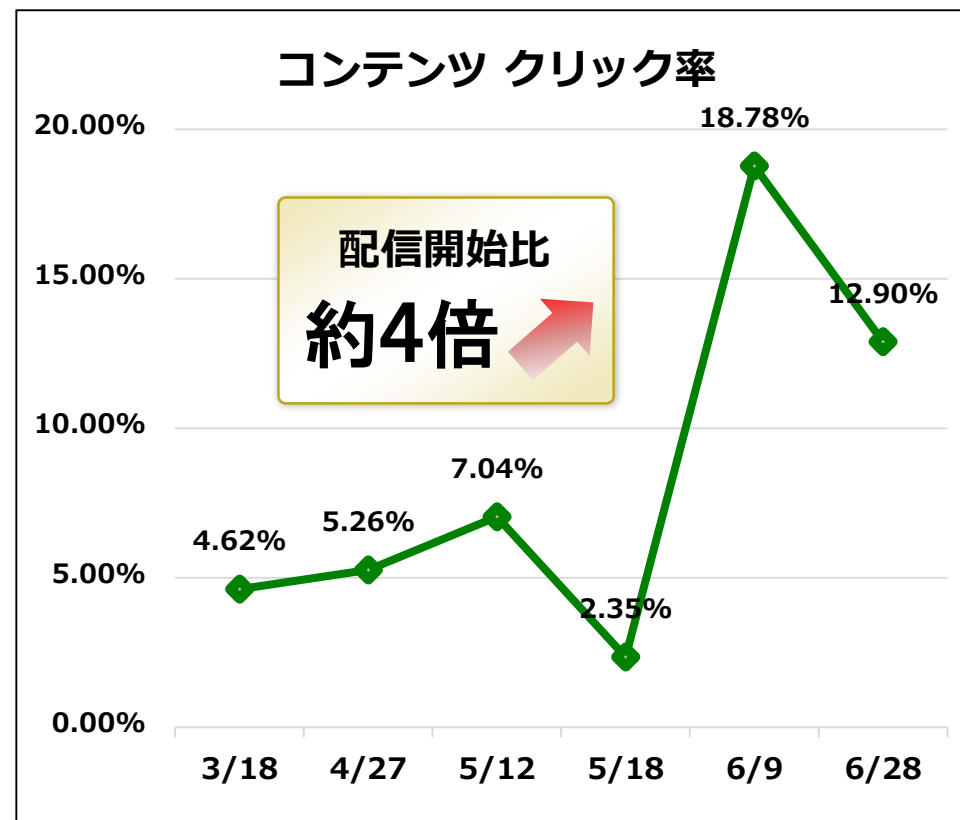
LINE公式アカウントにて顧客の新規来店に繋げる

- ▶ LINE公式アカウントにて商品やサロンの情報、美容コンテンツ等を発信
⇒ 繋がりを深めることで、興味・関心を高め、サロンへの来店につなげる

シーボン公式LINE 友達登録推移



コンテンツ クリック率



2023年3月期 第1四半期 トピックス

6/28 天猫(T-mall) C' BON旗艦店OPEN

- ▶ 美白シリーズ3品の出品。
動向を注視し、広告宣伝や販売品目の追加を行う。

正品質保証
C'BON
品牌直供

C'BON 倩朋旗舰店
To create and produce the beauty 收藏店铺

首页 所有宝贝 美白系列 基础系列 问题对抗系列 品牌故事

C'BON
To create and produce the beauty

官方入驻 开业盛典
日本专业美容沙龙院线品牌

あや かな オフ

光透耀白 保湿嫩肤
持证 美白

¥1970.00
C'BON/倩朋妃雪丽丝美白精华液
35ml祛斑提亮补水保湿抗老官方
总销量: 8

¥820.00
C'BON/倩朋妃雪丽丝美白化妆水
120ml爽肤水补水保湿祛斑提亮女
总销量: 5

¥1660.00
C'BON/倩朋妃雪丽丝美白美容霜
35g面霜滋润高保湿美白提亮祛斑
总销量: 7

店铺VIP商品 大图 小图 1/1

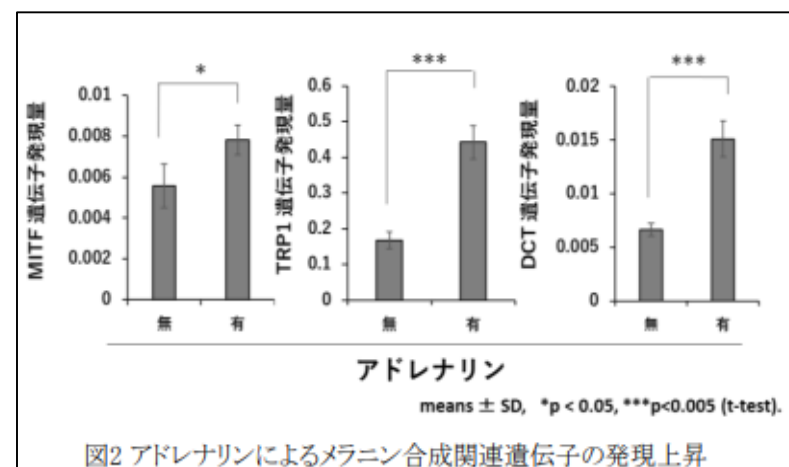
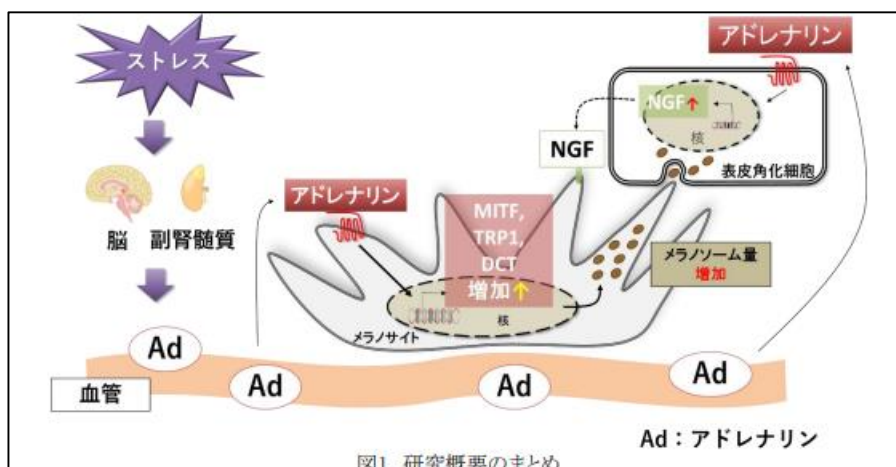
到天猫App 新人享4.9元包邮好货

上一页 1 下一页 到第 1 页

2023年3月期 第1四半期 トピックス

日本皮膚科学会総会にて研究成果を発表

▶ 心理的なストレスホルモン「アドレナリン」によるメラニン産生への影響を確認



シーボン.は心理的ストレスホルモンの一種であるアドレナリンが正常ヒト表皮角化細胞（以下表皮角化細胞）に作用することで、NGFの遺伝子発現が増加することを確認しています。

本研究では、正常ヒトメラノサイト（以下メラノサイト）においてアドレナリンがメラニンの産生を促進し、さらにNGFがデンドライトの分枝を促進することを明らかにしました。これらの結果から心理的ストレスホルモンの一種であるアドレナリンが表皮角化細胞とメラノサイトの両方に作用することで、シミやくすみが増強される可能性があることを見出しました。

▼詳細▼

<https://www.cbon.co.jp/company/news/companyinfo/detail/258>

2023年3月期 連結数値目標

2023年3月期 連結業績予想

■ 売上高:98億円 営業利益:4億5千万円 当期純利益:1億8千万円

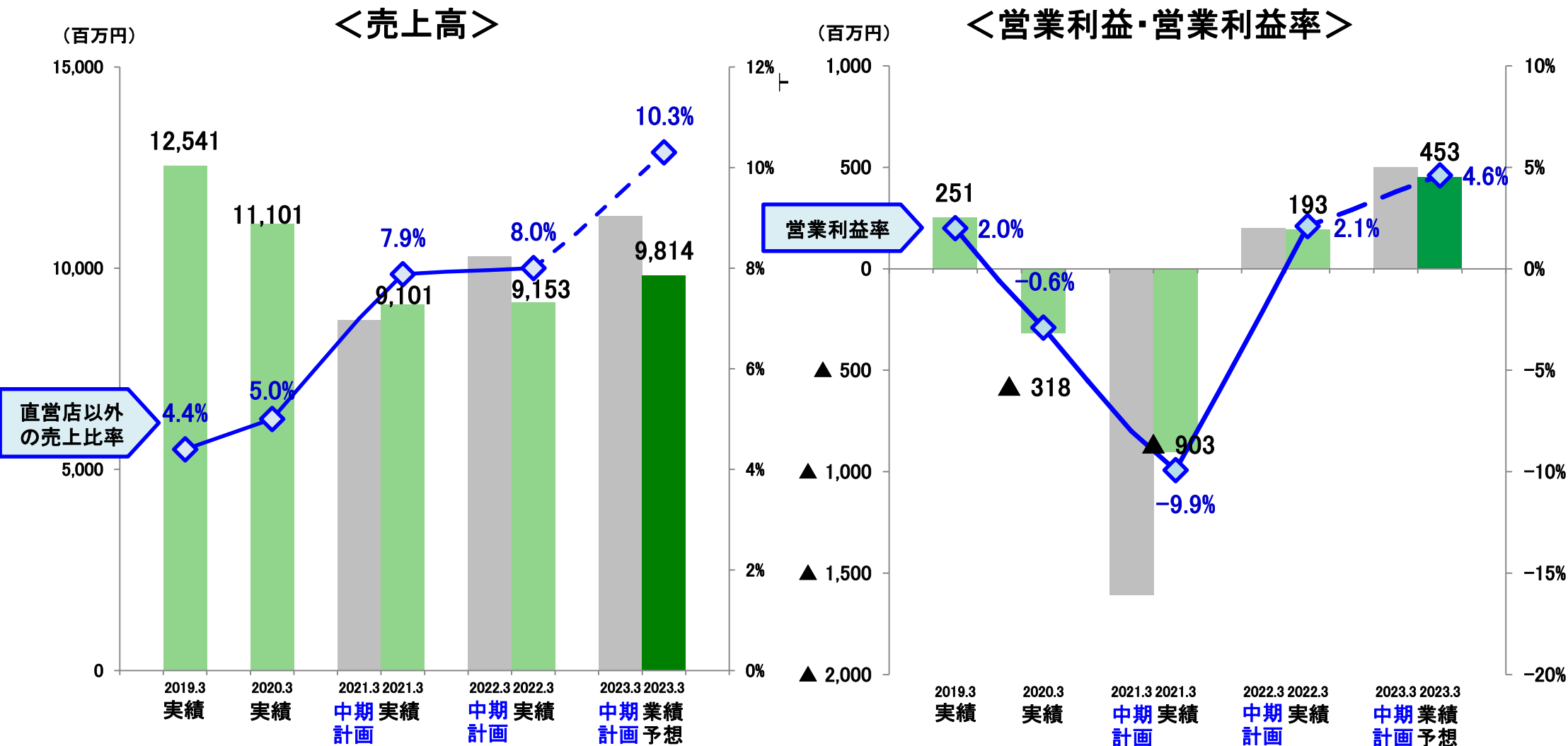
1 業績予想の営業利益と純利益の差額は、以下の特別損失を見込むため

- ・ 六本木本社ビル建替えに伴うもの
- ・ 本社機能の移転（川崎⇒青山）に伴うもの

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
業績予想	2023年3月期 第2四半期（累計）	4,885百万円	115百万円	113百万円	▲99百万円	▲23.25円
	2023年3月期 通期	9,814百万円	453百万円	451百万円	1 184百万円	43.20円
実績	2023年3月期 第1四半期	2,125百万円	▲18百万円	▲11百万円	▲27百万円	▲6.49円
	通期予想 進捗率（%）	21.7%	-%	-%	-%	—

連結数値目標

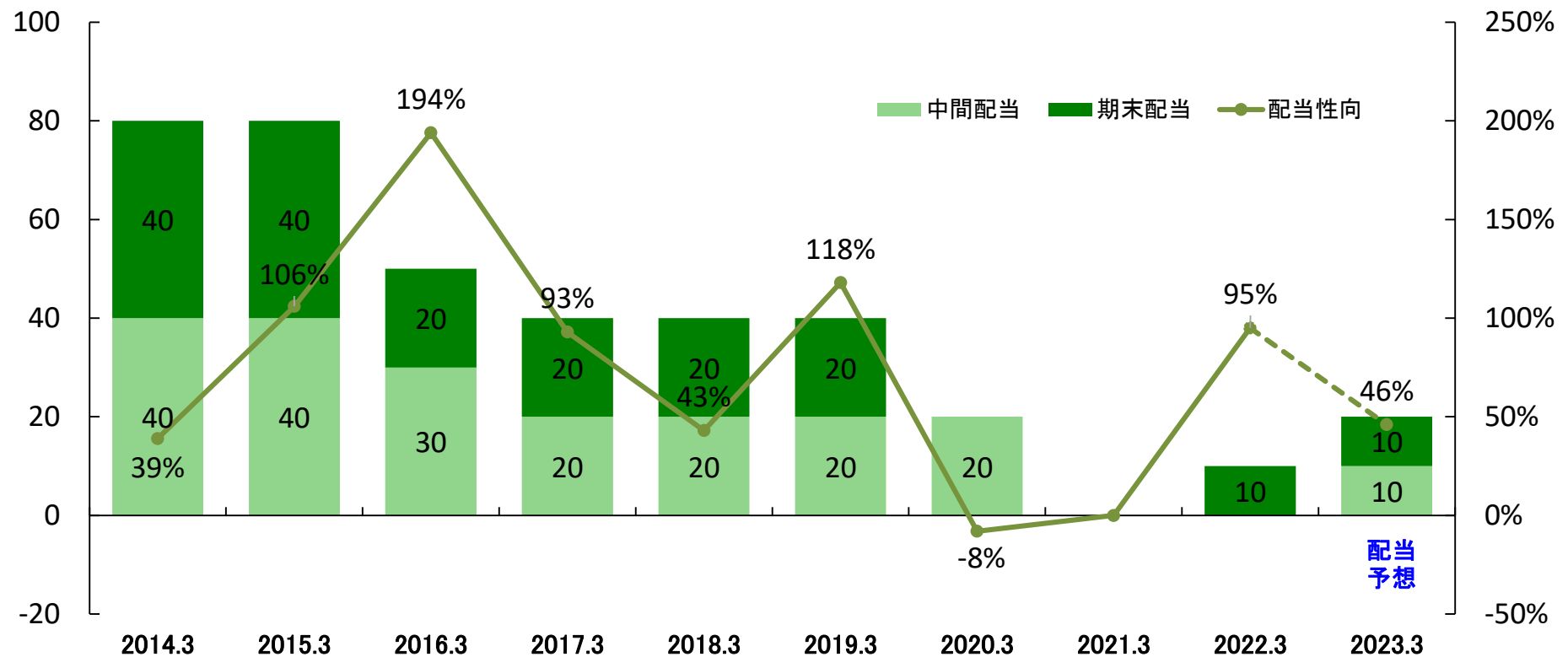
「新規販売チャネルの開拓」と「コストの合理化継続」による業績向上を目指す
⇒2023年3月期：直営店以外売上比率10%（バランスの良いポートフォリオ構築）



株主還元

2023年3月期 配当予想について

将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保するとともに、
安定的な配当を業績に応じて行う基本方針に基づき
⇒ 1株当たり配当金：中間10円・期末10円の年間20円



本資料お取り扱い上のご注意

- ・ 本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- ・ 本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問合せ

株式会社シーボン

IR担当窓口

Tel : 03-6771-7405

Mail : ir@cbon.co.jp